

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	Door to balloon timeの現状と今後の課題
該当者	2018年4月～2019年3月に救急車、自己来院で救急室を受診し緊急PCIを施行したSTEMI症例。ドクターヘリで搬送された患者、一般外来を經由して救急室を受診した患者は除きます。
当院の研究責任者	鏡 顕
研究代表者	
本研究の目的	日本循環器学会では、病院到着から初回バルーン拡張までの時間を90分以内、また、病院到着後10分以内に12誘導心電図を含めた病態評価を行うことを推奨しています。救急室を受診し緊急PCIを行ったSTEMI症例を対象とし、来院時から冠動脈再開通までの時間経過の現状を調査しDTBTの短縮に向けた課題を明らかにすることを目的としています。
実施予定期間	2019年5月から2020年3月
研究の方法	この調査では、当院救急室において2018年4月～2019年3月の間に当院で緊急PCIを施行された方に対し、電子カルテに記載がある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、12誘導心電図施行時間、救急医や当直医師診察開始時間、心臓カテーテル室入室時間、バルーン拡張時間、患者背景（既往歴など）、事前連絡の有無・内容、症状、来院時間、来院方法、トリアージ開始時間、トリアージレベル、トリアージ内容、救急室入室時間
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果は、学会で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	救急室 看護師 鏡 顕 023-685-2626